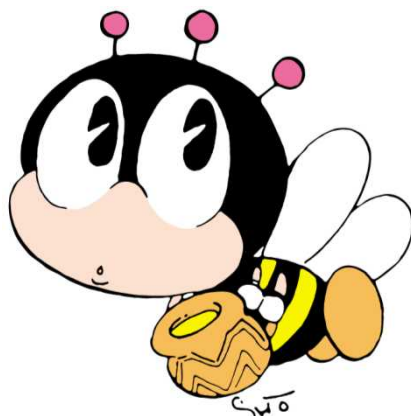


生涯学習講座の実施状況調査報告書



沖縄県教育庁生涯学習振興課

平成27年 5月

目次

1 調査の目的と実施概要	1
2 調査結果		
(1) 市町村の状況	3
(2) 講座内容別状況	4
(3) 対象者の講座状況	5
(4) 各地区の状況	7
(5) 生涯学習講座受講者	10
(6) 社会教育主事設置状況	11
3 資料	12
調査様式		

はじめに

本県では「第一次沖縄県生涯学習推進計画(平成7年度～平成13年度)」、「第二次沖縄県生涯学習推進計画(平成14年度～平成23年度)」に基づき、学習機会の提供や指導者の養成・確保、生涯学習情報システムの整備、生涯学習関連施設の整備・充実を図るなど、生涯学習環境づくりを進めてまいりました。

その実績を踏まえ、平成23年度に「第三次沖縄県生涯学習推進計画(平成24年度～平成33年度)」を策定し、潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現を全部局及び関係機関が一体となり推進しているところであります。

今回実施した「生涯学習講座の実施状況調査」は平成11年度から毎年実施してきた調査項目を、平成25年度より文部科学省による「社会教育調査」に準じたものとしております。この調査で、各市町村における生涯学習講座の実施状況を把握し、県民の生涯学習に対する動向を集約・分析することで、本県の教育施策の基礎資料とすることを趣旨としています。

この調査が、関係者各方面で広く活用され潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現に役立てていただければ幸いです。

結びに、本調査を実施するにあたり御協力頂いた市町村教育委員会及び関係各位の皆様方に、深く感謝申し上げます。

平成27年6月

沖縄県教育庁生涯学習振興課
課長 平良朝治

1 要項

「生涯学習講座の実施状況調査」実施要項

(1)趣旨

各市町村における生涯学習講座の実施状況を調査し、県民の生涯学習に対する動向を集約・分析することで、本県の教育施策の基礎資料とする。

(2)主催

沖縄県教育委員会

(3)調査内容

各市町村教育委員会が直接実施した講座や公民館講座等の講座名、講座回数、講座内容、対象者、受講者数等

(4)調査の対象となる期間

調査年度は平成25年4月1日から平成26年3月31日までの1年間

(5)調査対象

沖縄県内の全市町村

(6)その他

調査項目の「対象別」や「学習内容別」に関しては別紙1を参照

対象別

○青少年対象

青少年を対象とする少年教室、青年学級・青年教室等。

○成人一般対象

成人一般を対象とする成人学級・成人学校・市民学校・生活学校・専門講座・夏期講座・市民大学等

○女性のみ対象

女性のみを対象とする女性学級・女性講座・女性教室・女性大学等

○高齢者のみ対象

おおむね60歳以上の高齢者のみを対象とする高齢教室・高齢者学級・高齢者大学・老人大学等。

○その他

男性のみ、幼児と保護者など上記以外で、複数が対象となっている場

合

を含みます。

学習内容別(詳細は別紙2を参照)

○教養の向上

教養を高め、情操を養って精神的なうるおいをもたらし、豊かな個別の実現のための教育。

○趣味・けいこごと

○体育・レクリエーション

身体活動や仲間との共同生活のための体育・レクリエーションに関する教育。

○家庭教育・家庭生活

子どもの教育に関するもの、家庭生活の在り方についての教育。

○職上知識・技術の向上

専門的職務に従事している者の現職教育、有職者の職業資質の向上、勤労青少年に対する教育、転職・再就職等のための教育。

○市民意識・社会連帯意識

社会の構成員としての自覚をもち、よりよい地域社会の形成に積極的

に

参加し、国家・社会の在り方に深い関心をもつ、公民としての人間を形成するための教育。

2 調査結果

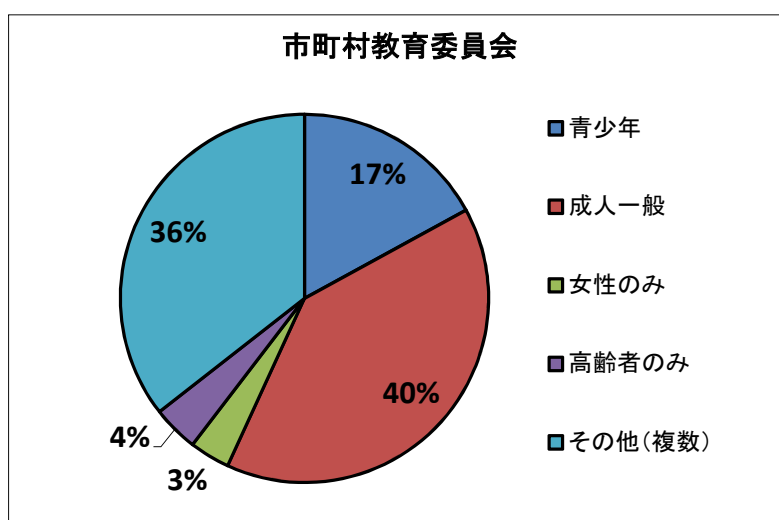
(1) 平成26年度間市町村教育委員会対象別講座状況（表1）

市町村教育委員会で実施した学級・講座の件数を対象別にみると、「成人一般」484件（39.8%）で最も多く、次いで「その他（複数）」432件（35.6%）、「青少年」207件（17.3%）が上位3つとなっている。

平成25年度間と比較すると、その他（複数）の講座は増加している。また、女性のための講座は前年度と同数で、ほかの講座は減少傾向にあり、全体の講座数も減少した。

表1 平成26年度間市町村教育委員会対象別学級・講座数

	青少年	成人一般	女性のみ	高齢者のみ	その他(複数)	合計
市町村教育委員会	207	484	43	49	432	1215
(平成25年度間)	227	501	43	66	407	1244
構成比	17.3%	39.8%	3.5%	4%	35.6%	100%
国頭地区	39	63	10	4	44	160
中頭地区	71	196	19	16	138	440
那覇地区	50	73	2	16	114	255
島尻地区	19	114	3	6	47	189
宮古地区	7			2	76	85
八重山地区	21	38	9	5	13	86



(2)平成26年度間市町村教育委員会学習内容別講座状況（表2）

市町村教育委員会で実施した学級・講座の件数を学習内容別にみると、「教養の向上（趣味・稽古ごと）」386件（32.2%）が最も多く、次いで「家庭教育・家庭生活」269件（22.4%）、「教養」194件（16.2%）が上位3つとなっている。

①「教養の向上（趣味・稽古ごと）」386件の内訳では、染物教室や陶芸教室等の「手工芸・陶芸」92件が最も多く、次いで折紙教室・親子おもちゃ作り等の「工芸・模型」81件、「パソコン・IT研修」46件が上位3つとなっている。

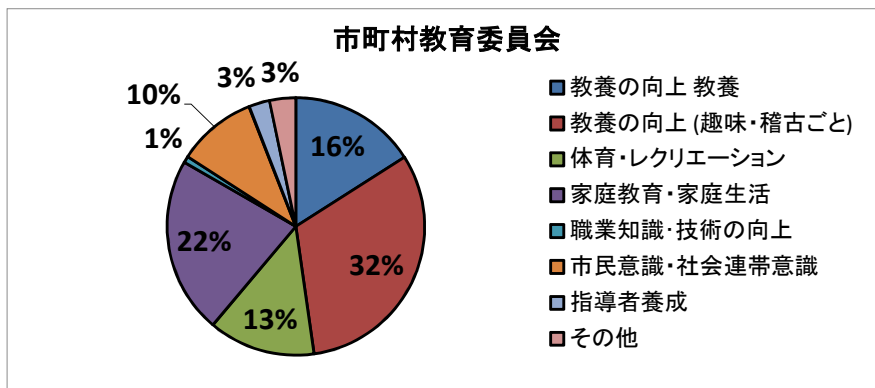
②「家庭教育・家庭生活」269件の内訳では、「料理・食品・食生活」66件が最も多く、次いで「読書・読み聞かせ」48件、「育児・保育・しつけ」38件が上位3つとなっている。

③「教養の向上の講座」194件の内訳では、「歴史講座」43件が最も多く、「自然観察・天体観測」27件、「自然科学」23件が上位3つとなっている。

表2 平成26年度間市町村教育委員会学習内容別学級・講座数

	教養の向上		体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他	合計
	教養	(趣味・稽古ごと)							
市町村教育委員会	194	386	163	269	10	121	32	40	1215
（平成25年度間）	197	382	227	274	22	90	22	30	1244
構成比	16.2%	32.2%	13.6%	22.4%	0.8%	10.1%	2.7%	3.3%	100%
平成23年社会教育調査	15219	26741	21211	40122	880	10839	2375	2777	120164
構成比	12.7%	22.3%	17.7%	33.4%	0.7%	9%	2%	2.3%	100%
国頭地区	44	44	21	32		14	3	2	160
中頭地区	51	158	72	118	3	19	18	1	440
那覇地区	45	36	27	67	4	39	8	29	255
島尻地区	24	78	23	36	2	21	1	4	189
宮古地区	3	58	14	8		1		1	85
八重山地区	27	12	6	8	1	27	2	3	86

※平成23年社会教育調査（3年に1度調査）：平成22年度間都道府県・市町村教育委員会における学習内容別学級・講座数



(3) 対象別講座状況 (表3)

青少年対象に実施した学級・講座件数を学習内容別みると、「教養の向上（趣味・稽古ごと）」73件が最も多く、次いで「教養の向上（教養）」57件、「体育・レクリエーション」29件が上位3つとなっている。

成人一般対象に実施した学級・講座件数を学習内容別みると、「教養の向上（趣味・稽古ごと）」169件が最も多く、次いで「家庭教育・家庭生活」124件、「体育・レクリエーション」52件が上位3つとなっている。

その他（複数）対象に実施した学級・講座では、夏休み期間に親子を対象とした講座が多く、学習内容別で比較すると「教養の向上（稽古ごと）」120件、「家庭教育・家庭生活」105件、「教養の向上（教養）」77件の順に講座が開催されている。

対象別では、女性のみや、高齢者のみを対象とした講座が少なく、また、学

表3 平成26年度間対象別学習内容別学級・講座数

	教養	趣味・稽古ごと	体育・レクリエーション	家庭教育・家庭生活	職業知識・技術の向上	市民意識・社会連帯意識	指導者養成	その他	合計
青少年	57	73	29	16	1	14	5	12	207
成人一般	45	169	52	124	7	56	17	14	484
女性のみ	7	11	6	15		3	1		43
高齢者のみ	8	13	9	9	1	6		3	49
その他(複数)	77	120	67	105	1	42	9	11	432
合計	194	386	163	269	10	121	32	40	1215

